

# 西紀っ子だより



「未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成 ～郷土を愛し ころ豊かに たくましく～」

◇丹波篠山市立西紀小学校

◇〒669-2716 丹波篠山市乗竹650

◇TEL: 593-0024 ◇FAX: 593-0249

◇E-mail: el-nishiki@school.sasayama.jp

◇HPIはこちらへ→



No. 6

(文責: 安井健二)

## 「あれから3年・・・」

校長 安井健二

10月になりました。「あれから3年」・・・「何が？」

3年前の10月5日の朝、言葉がうまく出ない「おかしい」と思いつつも、どうしても学校へ行きたくて車を走らせた。右手がハンドルから落ちるの見て、疲れとかではない違和感を感じていました。

学校へ到着後、急遽、病院へ連れて行ってもらい、診断の結果、左の脳に1cm大の出血があり、それが原因でろれつが回らなくなっていたようです。加えて、右手で文字が書けなくなっていました。その時は、「あっ、困ったぞ！何とかしなきゃ！」という気持ちより、「もうあかん。学校にも戻れないし、そもそも話せないし、これからどうしたらいいんや？」というように、ネガティブなことばかり考えていました。

数日後、リハビリが始まっても、「こんなことして何になるん？ どうせ元のようにしゃべれへんし。字も書けへんのやから。」といった具合でした。コロナ禍で家族にも会えず、カーテンで仕切られた薄暗い空間で一日の大半を過ごしていました。

しかし、入院中たくさんの方々から励ましのメールをいただきました。その言葉の一つ一つがどれだけ励みになったことか。リハビリの先生からも根気よく励ましていただき、徐々に気持ちも晴れてきて、「何とか復帰したい。」と思えるようになりました。

小学生が使う漢字ドリルを繰り返し、繰り返し練習しました。指が動くようにと指のマッサージやリハビリを必死でしました。

いろいろな作業をする中で、リハビリの先生から「安井さん、すごいね！できたやん。」と言われると、ものすごくうれしくて、また頑張ろうと思えました。小さなことでもほめられることがこんなにうれしいんだということを改めて実感しました。同時に、私はこれまで「できたことをほめる」より「できてないことを見つけて叱る」ことの方が多かったのではないかと反省させられました。

3年経った今でも、しゃべりにくい時があったり、元のように思い通りに字が書けなかったりします。しかし、3年前のことで気付いた「人の優しさ」「最悪の状況でも最善を尽くすことの大切さ」「ほめることの大切さ」をいつまでも忘れず、これからも西紀っ子をさらに大きく成長させるために生かしていきたいと思っています。

そうすることが、あの時、そして今でも気遣いの言葉をかけて下さる方々への感謝の証だと思っています。でも、何より健康が一番ですね！

# 創立150周年記念運動会

…たくさんの方にお越しいただきました。

9月16日(土)、まだ厳しい夏の日差しが照りつける中でしたが、創立150周年記念運動会を開催しました。この4年間コロナ禍ですべての人にご覧いただく事ができませんでしたが、今年は制限なく保護者の皆さま、地域の皆さまにご覧いただける運動会を開催することができました。

児童会スローガン「西紀っ子 負けても勝っても 全力で」～150周年だよ 全員集合～のもと、8:40、全校生の堂々の入場行進を皮切りに始まり、リレー、横綱引き、玉入れ、応援合戦など、子どもたちの歓声、一生懸命な表情、ご観覧いただいている方々の声援が入り交じる中、感動の時間が過ぎていきました。演技の最後は、児童、教職員、地域の方々、「全員集合」しての「西紀音頭」を踊って幕を閉じました。

運動会終了後には、創立150周年記念行事として、児童、教職員、地域の方々、総勢260名以上の人たちで、西紀小学校のゆかりの人たちに「おーいげんきか!？」と呼びかけながら、校章を形取った人文字の空撮と風船飛ばしを行いました。この様子は、下敷きにして各戸に配布する予定にしています。実施するにあたり、にしき



りづくり振興会の方々、西紀小学校育友会の方々、西紀小学校運営協議会の方々、自治会長会の方々、山高建設の方々をはじめ、たくさんの方々にご協力いただきました。ありがとうございました。

最後に、11月22日(水)に創立150周年記念行事(式典)第2弾「西紀小学校過去から現在、そして未来へ～心のバトン～」を13:30から本校体育館で行います。懐かしい写真も展示する予定です。お時間が許しましたら、お立ち寄りください。



